

ほけんだより

千葉県内で感染性胃腸炎が流行しています！

★感染性胃腸炎の集団発生の予防について ※保護者のかたもご覧ください。

こんな病気です！

感染性胃腸炎は、主にノロウイルス・ロタウイルス・サポウイルス・アデノウイルスなどのウイルスまたは細菌による嘔吐・下痢を主症状とした急性胃腸炎の総称です。

- 感染経路**：主に患者の排泄物を感染源とする直接・間接の経口感染がなりますが、飛沫感染も考えられます。
- 潜伏期間**：ノロウイルス12～48時間、ロタウイルス1～3日
- 症状**：嘔吐・下痢が突然現れます。
また集団発生した場合は、食中毒の可能性も考える必要があります。

感染予防は…！

- 二枚貝などの生食に、注意が必要です。しっかり加熱しましょう。
中心部を85～90度で90秒以上加熱するのが望ましいです。
- 例えばノロウイルスは、10～100個程度のウイルスが体の中に入っただけで、感染してしまいます。石けんでのていねいな**手洗い・こまめなうがい**を心がけましょう。
- 感染力が強いので、家庭内感染を起こしやすいです。**おう吐物の処理には、**次亜塩素酸ナトリウム**の入った消毒薬を使って、**きちんと消毒**することが大切です。



【おう吐物処理の手順】

- ・おう吐物の処理をするときは、使い捨ての手袋とマスクを着用します。
- ・おう吐物を静かに拭き取り、拭き取った後は、適正な濃度の塩素系消毒液（※）で床を浸すように拭きます。

（※）市販の塩素剤の多くは塩素濃度が約5%ですので、50～100倍に希釈して使います。

希釈の目安は500mLのペットボトル1本にペットボトルのキャップ1～2杯の塩素剤を入れると簡単です。

- ・片付けが終わったら、よく手を洗い、うがいをしてください。



こんなことにご注意を…！

- 毎日の**健康観察**をお願いします。
- 嘔吐・下痢のひどいときは、**脱水にならないよう**に気をつけましょう。
- 感染性胃腸炎は、感染します。嘔吐・下痢などの症状がありましたら、医療機関を受診してください。診察の結果次第では、「**出席停止**」扱いになる場合がありますので、学校までお知らせください。